

神戸製菓専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【平成28年6月11日 13:00～15:00 実施】

平成27年度自己点検自己評価(平成27年4月1日～平成28年3月31日)による

評価委員集計

| 項目 | 点検項目 | 評価 | | 自己点検 | 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等) | 評価 | | 学校関係者評価委員よりの御意見 |
|------------------------------------|---|------------------------------------|---|--|--|--|--|--|
| | | 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | | | | 出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | | |
| 1 教育理念・目的・育人人材像 | 1-1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか | 4 | | 学校運営にあたり、大切にしていることが、ミッションと教育理念である。これを基に、作成している事業計画があるからこそ、健全な学校運営が実現可能となる。事業計画で考える中期計画は、学校の未来を表現したものであり、そこで考えられた組織目的、運営方針、実行方針、実行計画が学校の成長につながっている。今後さらなる工夫と努力が必要である。 | 『キャリア教育』についても、今までの人間教育を更に発展させるべく、教職員に研修の機会を設け、学生それぞれが、『キャリア設計』を実現できるよう取り組んでいる。 | 4 | | ・明確にミッションが定められており、それに基づいた組織運営・事業計画が策定されていると思う。 |
| | 1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか | | | | | | | |
| | 1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか | | | | | | | |
| | 1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか | | | | | | | |
| 2 学校運営 | 2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか | 4 | | 法人としては、事業計画・運営方針を定めることを重要視している。その意識で毎年、業界のニーズに対応した事業計画・運営方針を作成するように努め、明文化された事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員が理解した上で各業務に取り組んでいる。 | 事業計画の構成①組織目的(普遍的に学校が目指す開校、組織運営の目的)②運営方針(中期的に組織として目指す方針)③実行方針(中期的な組織の運営方針を実現する為の単年度の方針)④定量目標(入学者・教育成果(中退防止・国家試験合格数・就職率等)⑤定性目標(人材育成や組織のあり方等単年度目標)⑥実行計画(その方針を実現させる為の具体的な計画)⑦組織図⑧職務分掌⑨部署ごとの計画・スケジュール⑩意思決定システム⑪収支予算書(5カ年) | 3.9 | | ・適切であると思う。 ・中長期を見据えた事業計画が策定・整備されており、すべての教職員にカスケードされている。 ・組織運営が円滑に運ぶよう、意識決定プロセス(権限委譲プロセス)の構築に努めている。 ・健全な学校運営をするため教職員研修が計画的に実施されており、レベルアップ、スキルアップの環境が整備されている。 |
| | 2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか | 4 | | 計画を具体化していくためにはその計画が構成メンバーに周知され、理解されているかが重要なポイントとなるので、教職員研修、会議(運営会議・学科会議・各課会議等)日常会話を通じて、全教員が学校運営に携わる環境作りを目指している。このことが、学校・学科の教育成果に繋がると考えている。 | 組織的に計画の遂行し、進捗状況を把握し、逐次見直しを行っている。また各学科・各セクションごとの事業計画を作成し、事業計画発表会を実施している。 | | | |
| | 2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか | 4 | | 意思決定システムは確立されているが、さらに教職員がそれぞれスキルアップを図り、意思決定できる様底上げをしていきたい。 | 理念・原理原則に沿った意思決定ができるよう、研修を実施している。 | | | |
| | 2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか | | | | | | | |
| | 2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか | | | | | | | |
| | 2-6-1 意思決定システムを整備しているか | 4 | | 問題解決サイクル(問題発見⇒問題分析+仮説立案⇒対策立案⇒実行⇒検証)を回していることが意思決定プロセスを効果的に活用できているため学校運営が円滑に進んでいるが、個人レベルでの今後更なるスキルアップが必要である。 | 目標到達の運営指標を定め、会議内での運営数字チェックを定例化しているので数字からの問題発見が可能である。 | | | |
| 2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか | 4 | | 学校セクション毎の情報システム化、学生の情報の一元管理、その結果としての業務の効率化が推進されている。しかし、大切なのは、学生一人ひとりの情報(入学前、在籍中、卒業後)を一元管理することにより、学生への様々な支援(学費相談、就職支援等)の際に、その情報を活かし、適切な助言をし、業界就職への内定獲得や資格合格に結びつけている。 | 今後は学内のシステムによる業務の効率化だけではなくインターネットを利用した学生や卒業生との双方向サービスの充実が重要となる。就職情報の共有やサポート、国家試験対策など効果的、効率的なサポートシステムの構築を目指している。 | | | | |

| 項目 | 点検項目 | 評価 | | 自己点検 | 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等) | 評価 | | 学校関係者評価委員よりの御意見 |
|-------------------------------|--|------------------------------------|--|--|--|--|---|---|
| | | 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | | | | 出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | | |
| 3 教育活動 | 3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか | 4 | | 業界の求める人材育成のため、到達目標を明確にし、教育をフローで考え、専門職業教育とキャリア教育を行っている。 入学後のオリエンテーションにおいて資格取得の必要性を説明している。 | 資格取得を目指す学科においては学園グループ内の組織である「国家試験対策センター」の指導のもと、担当教員の研修に留まらず、取得の意義や取得指導などが計画的に行われる支援体制を整備している。 | 3.9 | | <ul style="list-style-type: none"> ・学園グループの組織として、国家試験対策センターがあり、グループとして取り組まれており、計画的に支援体制を整えている。 ・国家試験合格100%を目指し試験対策の授業などたくさんされており、安心です。 |
| | 3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか | | | | | | | |
| | 3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか | 3 | | 業界団体の総会、研修に参加し、また外部の業界の講師の先生方には毎年2回講師会議を開催し、意見交換を行い、適切な評価システムの構築を図っている。 | 学生の開講授業のポイントの把握、再確認を目的に小テストを行っている。授業の理解度を学生自身また教員が把握すると共に学生においては復習の習慣づけやポイント整理の確認のための工夫をしている。 | 3.3 | | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後を見据えた教育が実践されている。 |
| | 3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか | | | | | | | |
| | 3-9-3 キャリア教育を実施しているか | | | | | | | |
| | 3-9-4 授業評価を実施しているか | | | | | | | |
| | 3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか | 4 | | 成績評価・履修認定については学則の「学習の評価」や「試験規定」に従い、実施しており、また教育指導要領や学生便覧においても明記しており教職員・学生に周知徹底している。保護者への周知も図っている。成績不振の学生に対する学校のフォローもしている。また、ゼミ祭、学園祭、卒業制作展で学生の成果を発表する場を設け、成果を把握している。 | 国家資格に関わる科目もその他の科目も評価基準を遵守している。また、明確な基準と共に学生一人ひとりに適した柔軟な対応が出来るよう、全ての学生が学科の評価基準を満たした上で進級及び卒業が出来る体制を構築している。 | 3.9 | | <ul style="list-style-type: none"> ・成績及び設定基準が明確に設定され。教職員、学生、保護者の全員に対して周知徹底がなされている。 |
| | 3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか | | | | | | | |
| | 3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか | 3 | | 資格取得のサポート体制としては平常授業のみならず国家試験対策講座を実施し、自宅学習支援や国家試験対策問題を活用できる環境を整えている。また学力不足の学生に対しては個別面談から補講まで様々な取り組みを実施している。 | 滋慶学園グループのスケールメリットを活かし、国家試験対策センターの集約のもと、全国のグループ校が持つノウハウを共有し国家試験対策を講じている。また、国家試験対策研修を行うことで担当する教員のスキルアップに努めている。 | 3.9 | | <ul style="list-style-type: none"> ・よく支援していただいていると思う。 ・よく指導していただいている。模試のあとの小テストなど先生方のフォローが適切である。 ・資格取得に対するサポート体制、環境づくりに注力されており、教員のスキルアップにも余念がない。 |
| | 3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか | | | | | | | |
| 3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか | 4 | | 学科の到達目標を達成するために、講師がその分野のスペシャリストであり、また、同時に教員要件を満たしている事が採用条件である。講師は学園の方針、養成したい学生像を理解し、情報の共有や問題解決につなげている。 教員は、グループ主催の教職員カウンセリング研修、FD研修、マネジメント研修などに参加し、資質の向上に取り組んでいる。 | 講義を行う者は、その業界の現状に則した内容を教授できる事が理想である。現在実技科目の外部講師は、現場で活躍されている現役のパティシエやブーランジェ、和菓子職人、菓子店オーナーの方を中心に組織されている。 | 4 | | <ul style="list-style-type: none"> ・菓子製造に関する技術指導だけでなく、職人であり社会人になる学生に、現役のパティシエ、パティシエール及びオーナーパティシエの考え方や夢や目標の持ち方等の講義等の実施。 | |
| 3-12-2 教員の資質への取り組みを行っているか | | | | | | | | |
| 3-12-3 教員の組織体制を整備しているか | | | | | | | | |

| 項目 | 点検項目 | 評価 | 自己点検 | 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等) | 評価 | 学校関係者評価委員よりの御意見 |
|---|---------------------------------|---|--|--|--|---|
| | | 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | | | 出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | |
| 4 学修成果 | 4-13-1 就職率の向上が図られているか | 3 | 開校以来、それぞれの学科の専門領域の就職・内定100%のために就職支援・指導を徹底し教職員一丸となって取り組んでいる。組織としてキャリアセンターを設置し、教務との連携をはかり、業界の動向などを把握し、求人獲得、学生の内定を勝ち取るためのシステムを構築している。 | 卒業年次を担当する教員が、早期に学生一人ひとりの進路を把握するための面談を実施している。また校内でも就職説明会を積極的に行っている。就職率の向上には、外部施設での実習やインターンシップが有効と考え実施している。 | 3.6 | ・いろいろと相談にのっていただいたり、指導していただいると思う。 ・就職内定率は98%～99%と良好であるため、これを維持してもらいたい。 |
| | 4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか | 3 | 国家試験に対しては常に合格率100%を目標としている。免許取得に対する必要性を入学後のオリエンテーションで説明している。 | 滋慶学園グループ校の同分野で構成される教育部会を設置し、資格試験100%合格のための仕組み作りを中心に、更なる合格率向上を目標として、毎年国家試験受験対策に関する総括を実施している。製菓衛生師科についてはe-learningを活用した授業と卒業後の学習環境の整備を図っている。 | 3.4 | ・学生さんの意識で合格率は変わるような気がします。 ・国家試験合格率が年々下降のみであるため、テコ入れが必要。 |
| | 4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか | 3 | 卒業生の活躍は就職先からの評価や役職への登用が増えてきていること、実習指導の出来る卒業生の増加などから評価できると考える。今後、卒業生のみならず在校生においてもさらなる活躍が期待できる場を作り、広げていく取り組みが必要である。 | 兵庫県洋菓子協会や業界の方々との連携を図り、業界の求める人材育成に努めている。卒業生に対し同窓会活動として、年1回卒後研修会を実施している。 | 3.3 | ・就職率の調査などをされているとのこと今後も続けてほしい。 ・卒業生とのコミュニケーション維持による動向把握、情報取得が必要。 |
| 5 学生支援 | 5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか | 4 | 学生支援の中でも就職支援に関しては就職率からも成功している部分と思われる。今後は面接指導の際に業界からの意見(求められる人材像)を今以上に反映できるような方策を検討し、学生に伝えていける体制を構築したい。WEBを用いた就職試験への対応の強化をすすめていきたい。 | 学生の就職支援として企業説明会を学内で実施していただいている。 | 4 | ・企業説明会が学校内で実施されているので、学生さんにとっては、とても就職活動に役立つと思う。 ・何かあると連絡をすぐ頂けるのでとてもありがたく思っています。 ・2、3日休みが続くとすぐ保護者へ連絡をされるとのこと、保護者との連携がしっかりとれていると思う。 ・卒業生への支援体制があるということはすばらしいと思う。 ・経済的側面、健康的側面を含め、学生さん、保護者が必要とする支援体制が構築されている。 ・なかなか退学率の低減をはかることは難しいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。 |
| | 5-17-1 退学率の低減が図られているか | 3 | 中途退学率は増加傾向にあるため、専門のカウンセラーの活用、生活習慣の指導を含めた学生支援などのバックアップ体制をさらに強化する必要があると考える。 | 滋慶学園グループが独自に開発整備した学生サポートアンケートを実施し、問題を持つ学生を早期に発見し対応することで中途退学防止へつなげている。滋慶学園グループは独自のカウンセリング研修を設けており、全教職員がカウンセリングマインドを持って、学生に対応できるよう研修を受け、資格を取得している。 | 3.9 | |
| | 5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか | 4 | スチューデントサービスセンターを設置し、メンタル面・経済的な問題・健康面などの相談を各所で受け入れる体制を整備し、有効に機能させている。日常的には学内の専門カウンセラー(顧問)と教職員がチームとしてアプローチし、問題の解決にあたっている。 | 学費支援システム・特待生選抜制度・在校生援助奨学金など完備している。 | 4 | |
| | 5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか | | | | | |
| | 5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか | 4 | 学生の経済的側面の支援は、事務局による個別相談の実施によって、事前に学費相談を受けられ、資金のやり繰りをアドバイスできている。いずれも担任と連携を取り、学生の変化に気を配り注意している。 | 学費支援システム・特待生選抜制度・在校生援助奨学金など完備している。 | 4 | |
| | 5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか | | | | | |
| | 5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか | | | | | |
| | 5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか | | | | | |
| 5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか | 4 | 本校のミッションである職業人教育や就職、また学生の資格取得実現のためには学校だけでなく家庭を中心とした学校外での学生動向も把握するように努め、問題解決にあたり、保護者との連携の強化を図っている。 | 学内での状況を一番把握しているクラス担任を中心に保護者への連絡や報告、相談を密に行える体制・雰囲気を作るために入学前の学校説明会や入学式後に学校代表、学科代表、教職員に紹介などの場を設けている。学園祭などの学内行事への積極的な保護者参加がある。 | 3.9 | | |
| 5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか | 3 | 現状では学校側が中心となって実施しているが、今後は同窓会の運営をより充実させ、活発にするために同窓会役員が主体となり学校側が支援する体制を整えることを目指す。卒業生は学校の財産であり卒業生との連携はますます重要である。 | WEBを利用し、卒業生の近況の情報収集を行い、卒後研修の参加率向上に努めている。 | 3.6 | | |
| 5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか | | | | | | |
| 5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか | | | | | | |

| 項目 | 点検項目 | 評価 | | 自己点検 | 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等) | 評価 | | 学校関係者評価委員よりの御意見 |
|---------------------------------------|--|------------------------------------|--|---|--|--|--|---|
| | | 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | | | | 出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | | |
| 6 教育環境 | 6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備教育用具を整備しているか | 4 | | 実習においては、実際の現場で使われている設備を備えていることが不可欠である。実学教育に力を入れている本校の設備、施設はかなり高いレベルで整備されていると考えている。衛生面でも衛生委員を編成し、衛生管理に努めている。 | 厚生労働省指定製菓衛生師養成施設 手洗い設備に手指消毒剤を設置、衛生管理をしている。 施設・設備は専門業者による定期点検、清掃を行っている。 | 4 | | ・とてもいい設備だと聞いています。 ・適切に運営されている。 |
| | 6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか | 4 | | 授業の一貫として学外実習(店舗実習)を実施しており、実習先との打ち合わせから学生の実習前教育、報告会、評価方法に至る一連の流れをマニュアル化しており、実施体制は整備されている。また希望者を募り、海外研修を実施しており、建学の理念である「国際教育」を実践している。 | 海外研修先 フランス:エコール・デュ・グラン・ショコラ・ヴァローナ | 3.9 | | |
| | 6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 6-24-2 字内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか | 4 | | 防災訓練を通して、学生への動機付けは出来ていると考えられるが、緊急時の対応も出来るように、全教職員を対象に市民救命士講習会を実施している。 | 防災訓練の映像化(DVD) AEDの設置:毎月1回の定期点検を実施している。 | 4 | | |
| 7 学生の募集と受け入れ | 7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか | 4 | | 本校は兵庫県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。また、学校案内・募集要項をはじめとする資料は、上記の定めたルールに遵守したものとなっている。ホームページにおいても上記のルールを遵守したものになっている。 | 説明会への参加は、複数回参加を促し、疑問がきちんと解消できるよう仕組みを構築している。また、早期出願者に対し、出願時のモチベーションを入学時まで維持できるよう「オープンキャンパス(入学前教育)」を実施している。 | 4 | | ・こまめに高校との連携を図られており、またオープンキャンパスも頻繁に行われている。 ・適切に運営されている。 |
| | 7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか | | | | | | | |
| | 7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか | 4 | | 学則を基にし、募集要項で明記した入学選考方法通り選考をしている。各回の選考に関しては、スケジュールを募集要項に明示し、決められた日程に実施している。また、選考終了後は選考会議により可否を確定する。面談結果、書類内容、選考試験が実施されている場合、その結果を踏まえ、将来製菓製パン業界で働くことに適正があるかを総合的に判断している。 | 将来の希望分野への適正をきちんと見極めるため、面談の比重を多くしている。結果として学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っている。 また、AO入試を導入し、学力に捉われず、キャリア教育の一環として、よりやる気を重視した学生確保にチャレンジしている | | | |
| | 7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか | | | | | | | |
| | 7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか | 4 | | 毎年、各学科において教科書、教材の見直しを行っており、諸費用の無駄な支出がないかチェックしている。 | 入学以前の募集要項上において、事前に年間必要額を明示しているため、保護者に関しては年間支出計画が立てやすい。 また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にたつてのアドバイスを実施している。 | | | |
| 7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について適正な取扱いを行っているか | | | | | | | | |
| 8 財務 | 8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか | 4 | | 厳しいチェック及び評価が行われ、中長期的に財務基盤は安定し、本校の学校運営も安定していると考えている。 5ヵ年計画に基づいた収支計画は中長期的な視点で物事を考えることができ、財務基盤の安定につながっている。 | 指揮命令の系統が明確になっており、内部承認体制が確立されている。 | 4 | | ・適切であると思います。 ・適切に運営されている。 |
| | 8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか | | | | | | | |
| | 8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか | 4 | | 5年を見越した収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会でチェックするため現実に即した予算編成になっているものとする。 | 予算→四半期予算実績対比→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特徴として挙げられる。 | | | |
| | 8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか | | | | | | | |
| | 8-30-1 私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか | 4 | | 監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成している。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。 | 私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。 | | | |
| | 8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか | 4 | | 財務情報公開の体制整備はできている。学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。今後ともどんな法改正にも迅速に対応していくと考えている。 | 当法人の財務情報公開に関しては、常務理事が統括し、事務局次長が責任者として担当する。また、事務担当者を置いて現場対応を行っている。 <公開書類> 1. 財産目録2. 貸借対照表3. 収支決算書4. 事業報告書5. 監査報告書 | | | |

| 項目 | 点検項目 | 評価 | 自己点検 | 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等) | 評価 | 学校関係者評価委員よりの御意見 |
|--------------------------------|---|------------------------------------|--|---|--|---|
| | | 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | | | 出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 | |
| 9 法令等の遵守 | 9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか | 4 | 法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、整備されている。カリキュラムや教員要件はしっかりチェックし、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する研修を実施している。 | 監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切であると思います。 ・マイナンバーについてもすでに対応がなされているとのことですばらしいと思った。 |
| | 9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか | 4 | 個人情報保護の体制はできている。個人情報保護の教職員への啓蒙として、年2回全教職員に対して研修を行っている。 | 外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、ホームページ上に明記している。 | | |
| | 9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか | 4 | 自己評価・自己点検の結果、教育情報をホームページに掲載している。 | 下記HPアドレスにて情報公開している。 http://www.kobeseika.ac.jp/info/ | | |
| | 9-34-2 自己評価結果を公表しているか | | | | | |
| | 9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか | | | | | |
| | 9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか | | | | | |
| 9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか | | | | | | |
| 10 社会貢献・地域貢献 | 10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3 | 職業教育を通して社会に貢献することが我々の使命であるが、卒業生や在校生本人のみならず、彼らを取り巻く社会環境や業界、さらには学校が存在する地域の信頼を得ながら、その役割を果たしてゆく。またキャリア教育の一環として挨拶の仕方、服装、髪型、言葉遣い等の指導を受け、ボランティアに参加している。 | 教育プログラムの一環として社会貢献・地域貢献に取り組んでいくシステムづくりを検討する。 また、社会福祉法人の障害者就労支援活動(スイーツコンソーシアム)に協力し、学生スタッフとしてボランティアに参加している。 | 3.7 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切に運営されている。 ・フラワーロードの清掃活動への取り組みもなされている。 |
| | 10-36-2 国際交流に取り組んでいるか | | | | | |
| | 10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか | | | | | |